

吉祥寺で降りて、本当にもう何年降りかで井の頭公園に歩いて行って見ました。池のはたの杉の木が、すっかり伐り払われて、何かこれから工事でもはじめられる土地みたい、へんにむき出しの寒々とした感じで、昔とすっかり変わっていました。

さあそこで、次の文章を読んでみよう。

2丁目のバス停で降りて、1年ぶりに公園に行きました。遊具が全部なくなっていて、これから駐車場工事でも始められる土地みたい、がらんとしたさみしい感じで、前とはすっかり変わっていました。

さて、そのがらんとした公園を何かに例えた言葉をつけ加えてみようか。

2丁目のバス停で降りて、1年ぶりに公園に行きました。遊具が全部なくなっていて、がらんとした。駐車場になる土地みたいに、がらんとしてさみしい感じがしました。前とはすっかり変わっていました。

わー！
本当だ!!

文章、太宰治の小説の一節だ。文章の流れは変わらないね。小説を書くことはむずかしくないってことだ。でも、ちょっとした決まりごとやテクニックを知っていればさらにすらすら書けるようになる。それをこれから覚えていこう!

そうだねーって、
僕全然出番ナシ!?

今月の参考文学

「ヴィヨンの妻」太宰治(昭和21年発表)/新潮文庫
主人公と妻の日々をかなしくも軽妙に描く、太宰晩年の短編小説の傑作。

つなげると、
とっても
読みやすい
なま。

なんか
小説っぽく
なって
きたね。

はーい!

見本
びっちり
バージョン

静かな日曜の午後だった。電話が鳴り出してみると、変わった声の男「こんちは。私は未来人だ。さきの50年後を思い出してあげよう」と話し始めた。僕はあわてて電話を切った。電話はそれから100年経たなかった。男は僕が100年後の世界から来た未来人だと、知っていたがけつきたのだらうか。

ハガキ文学大募集!

1枚のハガキにキミのオリジナルの小説を書いて送ってね!
テーマ、ジャンル、長さは自由。びっちり書くのもよし、数行でもOK! おもしろい作品は、万年筆先生が誌上で紹介&アドバイスするよ~!! 住所・氏名・電話番号を書いて
〒101-8001 東京都千代田区一ツ橋2-3-1 小学館
小六④「小説すらすら講座」係 まで送ってね!
(応募ハガキの取り扱いについては、000ページをご覧ください)

次回のテーマは

キャラクター設定

小説の登場人物を決めて、その人たちの姿形、年齢やどんな性格なのか決めることだよ!

もっと
続けて
書きたい
よ!